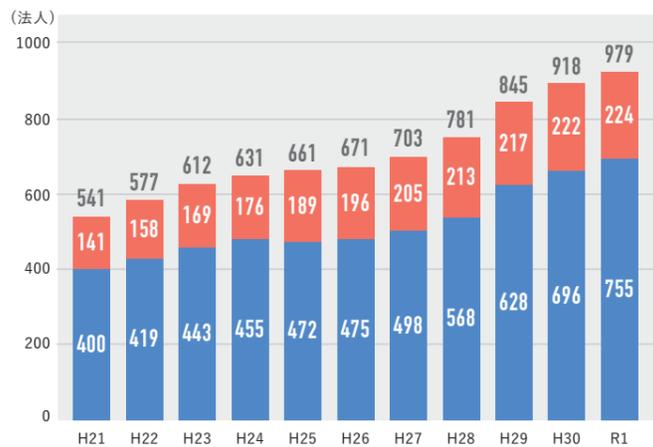


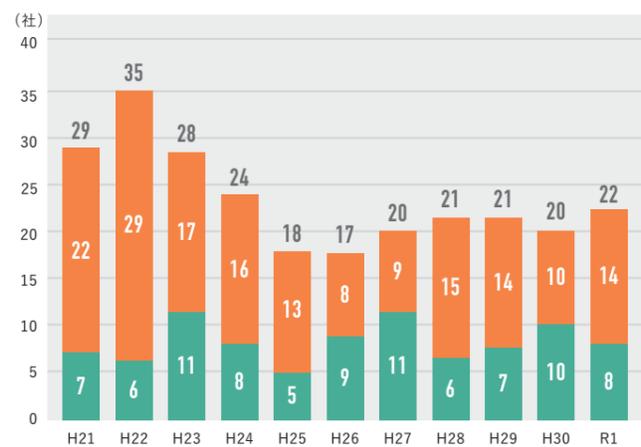
雇用就農 農業法人に就農する

大分県内の農業法人数は、令和元年度末現在979法人で、年々増加しています。大分県は、特に農業への企業参入を進めており、平成19年から297社(県内企業199社、県外企業98社)が農業参入しました。新規就農者のうち、毎年約4割が農業法人に就職しており、農業法人への就職というスタイルは、ここ数年定着し、農業法人にとって経営を支える人材として欠かせない存在となっています。農業法人では就業規則が整備され、労働保険や社会保険、その他福利厚生も整っています。ただし、給与水準が他の業種と比較して高くないところが多いのが現状です。農業法人への就職を希望される方は、公共職業安定所(ハローワーク)や、無料職業紹介所である大分県農業農村振興公社へお気軽にお問い合わせください。

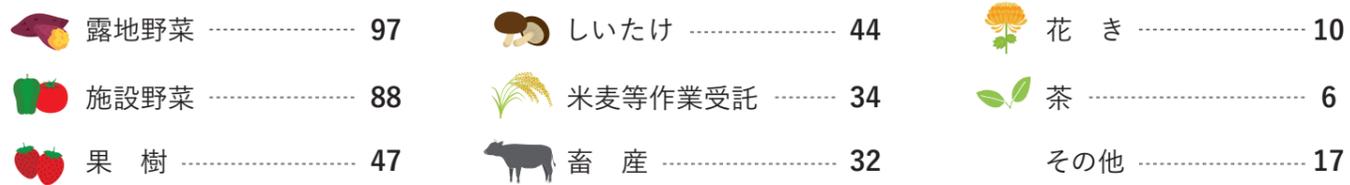
農業法人数の推移



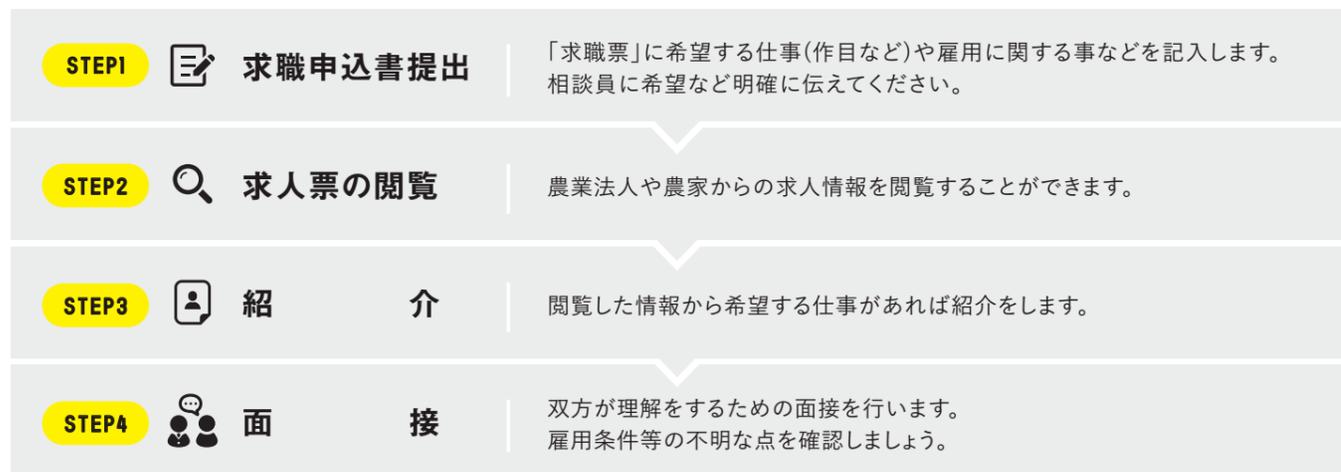
農業への企業参入実績



参入企業が取り組んでいる農産物(社:延べ数)



農業法人就職までの流れ ※無料職業紹介所(大分県農業農村振興公社)の場合



採用!働きやすい職場をお互いに協力しながら作っていきましょう!

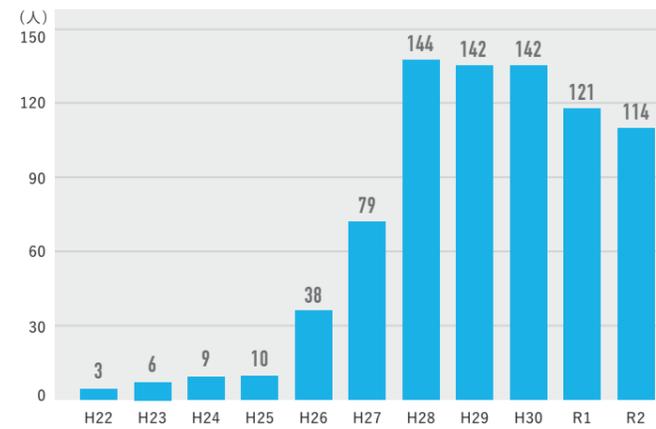
その他



地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは、都市から田舎に一定期間生活の拠点を移し、「地域協力活動」を行いながら、地域への定住・定着を図る制度で、大分県では、これまで307人を受け入れています(R2年4月1日現在114人が活動中)。年代も10~30代が半数以上を占め、農業振興だけでなく、観光振興や集落支援など様々な活動を行っています。任期終了後に大分県で就農した方もおり、農業を始める一つの方法として注目されています。

地域おこし協力隊員数の推移(各年4月1日付け在籍者)



隊員の主な担当業務

- 観光振興 ● 集落支援 ● スポーツ・芸術文化振興
- まちづくり支援 ● 移住・定住支援
- 農林水産業関連業務 **24人** (全体の21%)
 - 農業(作業支援、有機農業推進等)
 - 畜産(作業支援等)
 - 水産(養殖作業支援等)
 - その他(農泊、食育等)

肉用牛ヘルパー

肉用牛ヘルパーとは、これまで年中無休であった畜産農家の方々に定休日を設ける取り組みとして、「定休型肉用牛ヘルパー」が現在6組織設立されています。ヘルパーの仕事としては、各地域内の牧場をまわって、畜産農家の代わりに母牛や子牛の世話、牛舎清掃等があります。また、原則として、毎週1日以上は休日があり、傷害保険への加入については、掛金を組合が負担します。農家からの感謝をいただきながら、たくさんの牛たちと触れ合うことができ、いろんな経験を積むことができることもこの仕事の特徴となります。近年では、ヘルパーを数年経験したのちに新規就農する方が増えており、県としても新たな就農への道として支援していきます。

大分県内の肉用牛ヘルパー組合一覧

組合名	地域	組合員数	ヘルパー人数	給料(農家規模で設定)	保険等(組合負担)
久住地域肉用牛ヘルパー組合	竹田市内	67戸	8人	小 6,750円/日~ 大 9,000円/日	労災保険
大分布畜産サポート組合	由布市内	8戸	1人	8,640円/日	傷害保険
日田地域畜産ヘルパー組合	日田市内	10戸	2人	小 7,560円/日~ 大 10,800円/日	傷害保険
玖珠九重肉用牛ヘルパー組合	玖珠町・九重町(飯田除く)	30戸	2人	小 7,560円/日~ 大 10,800円/日	労災保険、雇用保険
佐伯市肉用牛定休型ヘルパー組合	佐伯市内	6戸	2人	小 6,000円/日~ 大 9,000円/日	傷害保険
豊後大野市肉用牛定休型ヘルパー組合	豊後大野市内	14戸	2人	小 6,000円/日~ 大 10,000円/日	傷害保険